

トガリバイチイゴケ

Taxiphyllum cuspidifolium (Card) Iwats.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… ー

■ 県内分布

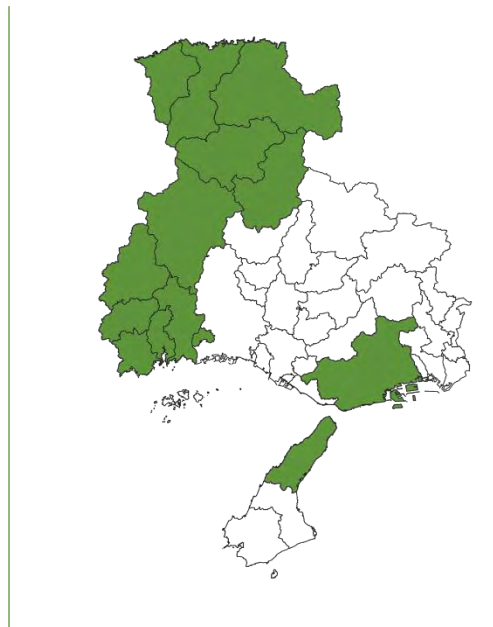
神戸市、淡路市、西播磨、但馬

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

兵庫県では石灰岩以外の場所に生育する。

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

アオモリサナダゴケにやや似るが、茎は多くの枝を羽状に分ける。枝は斜上し、葉を密に丸くつけて、あまり扁平にならず、葉を含めて幅1.5-2mm。偽毛葉は三角形。枝葉は長さ2-2.5mm、卵形、やや非相称で凹み、先は急に細く鋭頭、または長く尖る。葉縁はほぼ全縁、または細かい歯がある。中肋は2叉して短い、ときに葉長の1/3前後に達する。葉身細胞は線形、平滑。翼部の細胞は方形から矩形、数列あって暗く、葉縁では縦に6-14個が並ぶ。雌雄異株。石灰岩地の岩上、地上、ときに木の根元等に生育する。